

熊本県中学校部活動地域移行シンポジウム

南関町の重点地域における取組み

なんかん トッパ☆丸



令和8年1月30日（金）

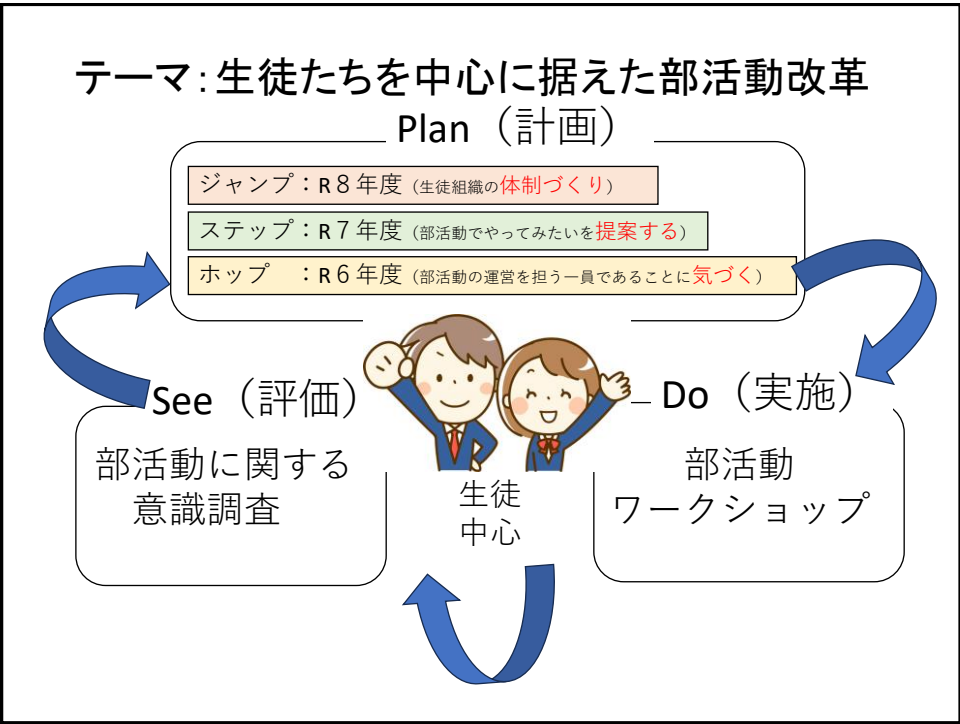
南関町教育委員会

南関中学校 部活動検討委員会

▶スポーツ庁の実証事業を活用した南関町の部活動改革

「学校単位から地域単位の部活動へ」、「生徒が主体となって運営する部活動へ」

2021 (R3)	会議(教育委員会)、調査(生徒・教員・指導者)、研修会(指導者、教員)、指導者派遣 →政策動向把握、当事者ニーズ把握、地域移行への課題共有
2022 (R4)	会議(教育委員会)、調査(保護者・企業)、研修会(教員)、視察、指導者派遣 →政策動向把握、保護者ニーズ把握、財源課題共有
2023 (R5)	会議(教育委員会)、調査(小学生)、生徒WS、指導者派遣、コーディネーター配置 →PTA代表者を招聘、コーディネーターの配置、生徒WSの実施・検証 →バドミントン部を平日も含めた地域部活動(A-life活動)化
重点地域 2024 (R6)	会議(教育委員会)、生徒(WS、調査)、視察、指導者派遣、コーディネーター配置 →生徒WSや重点地域事業(スポーツ体験、群馬県とのweb交流)の展開 →ソフトテニス部を平日も含めた地域部活動(A-life活動)化
2025 (R7)	会議(教育委員会)、生徒(WS、調査)、視察、指導者派遣、コーディネーター配置 →生徒WSや重点地域事業(スポーツ体験、群馬県との対面交流、イベント企画)の展開 →入部状況により移行、継続、廃止を明確化



3

話し合いの過程

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(1)」での気づき

1回目：令和7年6月3日16時15分～実施 参加生徒23人

- ・部活動運営の主役は生徒であるということ
- ・部活動運営の「現実（先生による運営）」と「理想（生徒も含めた運営）」

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(2)」での体験

2回目：令和7年8月20日14時～16時実施 参加生徒18人

- ・部活動にはないスポーツ体験（ヨガ、ゴルフ、ACPなど）
- ・部活動にはないコンディショニング体験（トレーニング、テーピングなど）

▶なんかんスポーツDAY中学生ブースの企画運営

令和7年10月12日実施 参加生徒6人（内高校生1人）

- ・それいけ！ナンカンマン（ボールで的を倒す遊びブース立案）

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(3)」での提案

3回目：令和7年11月26日実施 参加生徒23人

- ・部活動にはない地域と協力して「やってみたい」体験について
- ・具体的には種目横断的な体験イベントの企画・内容について

4

話し合いの過程

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(1)」での**気づき**

1回目:令和7年6月3日16時15分～実施 参加生徒23人

- ・部活動運営の主役は生徒であるということ
- ・部活動運営の「現実（先生による運営）」と「理想（生徒も含めた運営）」

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(2)」での体験

2回目:令和7年8月20日14時～16時実施 参加生徒18人

- ・部活動にはないスポーツ体験（ヨガ、ゴルフ、ACPなど）
- ・部活動にはないコンディショニング体験（トレーニング、テーピングなど）

▶なんかんスポーツDAY中学生ブースの企画運営

令和7年10月12日実施 参加生徒6人(内高校生1人)

- ・それいけ！ナンカンマン（ボールで的を倒す遊びブース立案）

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(3)」での提案

3回目:令和7年11月26日実施 参加生徒23人

- ・部活動にはない地域と協力して「やってみたい」体験について
- ・具体的には種目横断的な体験イベントの企画・内容について⁵

5



6

ワーク1：部活動運営の役割を考えてみる

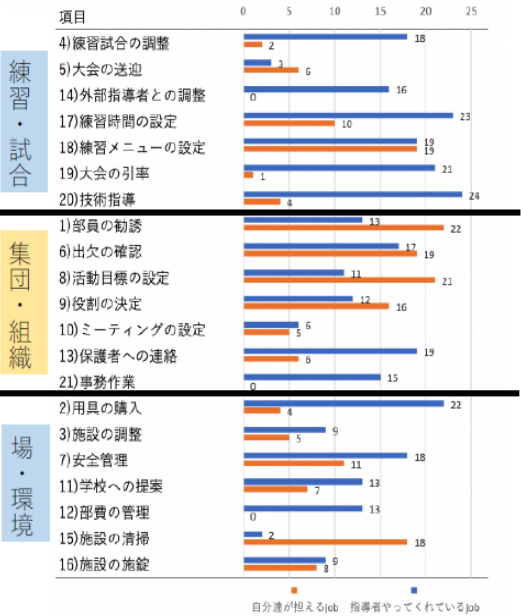
課題	教師が決める・解決する	生徒が決める・解決する			部活動指導員・外部指導者が決める・解決する	左の3者（教師、生徒、部活動指導員・外部指導者）の全員で決める・解決する	保護者に頼む・依頼する
		生徒と教師で決める	生徒だけで決める	生徒と指導員で決める			
部員の勧誘	○		○				
用具の購入	○	●					
施設の調整	○		●				
練習試合の調整					○	●	
大会の送迎	○						●
・							
・							
・							

○：現状において解決している人に○をつける
●：これからの部活動において誰が解決すべきかみんなで話し合い●をつける



7

▶「先生が担うjob」と「自分たちが担えるjob」



先生 > 生徒
(指導者)

先生 < 生徒
(指導者)

先生 > 生徒
(指導者)

6

8

話し合いの過程

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(1)」での気づき

1回目:令和7年6月3日16時15分～実施 参加生徒23人

- ・部活動運営の主役は生徒であるということ
- ・部活動運営の「現実（先生による運営）」と「理想（生徒も含めた運営）」

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(2)」での**体験**

2回目:令和7年8月20日14時～16時実施 参加生徒18人

- ・部活動にはないスポーツ体験（リズムジャンプトレーニング、Tボール）
- ・部活動にはないコンディショニング体験（ストレッチ・アイシングなど）

▶なんかんスポーツDAY中学生ブースの企画運営

令和7年10月12日実施 参加生徒6人(内高校生1人)

- ・それいけ！ナンカンマン（ボールで的を倒す遊びブース立案）

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(3)」での提案

3回目:令和7年11月26日実施 参加生徒23人

- ・部活動にはない地域と協力して「やってみたい」体験について
- ・具体的には種目横断的な体験イベントの企画・内容について。

9



10



リズムジャンプ
トレーニング
の様子



ティーボール
ルール決め
の様子

11

話し合いの過程

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(1)」での気づき

1回目: 令和7年6月3日16時15分～実施 参加生徒23人

- ・部活動運営の主役は生徒であるということ
- ・部活動運営の「現実（先生による運営）」と「理想（生徒も含めた運営）」

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(2)」での体験

2回目: 令和7年8月20日14時～16時実施 参加生徒18人

- ・部活動にはないスポーツ体験（ヨガ、ゴルフ、ACPなど）
- ・部活動にはないコンディショニング体験（トレーニング、テーピングなど）

▶なんかんスポーツDAY中学生ブースの企画運営

令和7年10月12日実施 参加生徒6人(内高校生1人)

- ・それいけ！ナンカンマン（ボールで的を倒す遊びブース立案）

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(3)」での提案

3回目: 令和7年11月26日実施 参加生徒23人

- ・部活動にはない地域と協力して「やってみたい」体験について
- ・具体的には種目横断的な体験イベントの企画・内容について¹²

12



13



14

話し合いの過程

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(1)」での気づき

1回目:令和7年6月3日16時15分～実施 参加生徒23人

- ・部活動運営の主役は生徒であるということ
- ・部活動運営の「現実(先生による運営)」と「理想(生徒も含めた運営)」

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(2)」での体験

2回目:令和7年8月20日14時～16時実施 参加生徒18人

- ・部活動にはないスポーツ体験(ヨガ、ゴルフ、ACPなど)
- ・部活動にはないコンディショニング体験(トレーニング、テーピングなど)

▶なんかんスポーツDAY中学生ブースの企画運営

令和7年10月12日実施 参加生徒6人(内高校生1人)

- ・それいけ!ナンカンマン(ボールで的を倒す遊びブース立案)

▶R7年度「生徒の部活動ワークショップ(3)」での提案

3回目:令和7年11月26日実施 参加生徒23人

- ・部活動にはない地域と協力して「やってみたい」体験について
- ・具体的には種目横断的な体験イベントの企画・内容について

15

15

中学校部活動地域展開

シンポジウムIN南関

令和8年1月18日(日)

13時30分～16時00分

※受付13時00分～

会場:南関町交流拠点施設「ukara」

申込フォーム



締切:1月13日

第1部 国の動向について

スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐 竹河 信裕 氏



第2部 パネルディスカッション

テーマ「地域とともに育む、子ども(生徒)にとって、最良なスポーツ環境の未来」

元バレーボール日本代表

益子 直美 氏

バレーボール日本代表として活躍。1992年に現役引退。2015年から監督が怒ってはいけない大会(益子直美カップ)を主催。2023年に日本スポーツ少年団本部長に就任「スポーツは楽しい!」と思える環境づくりに取り組む。

ゴールボール金メダリスト

浦田 理恵 氏

南関町生まれ。20歳の時に網膜色素変性症と診断されるが、ゴールボールと出会い、ロンドン2012パラリンピック金メダル、東京2020パラリンピックでは日本選手団副主将を務め、銅メダルを獲得。

南関町長 佐藤 安彦 氏



株式会社読売巨人軍

井上 真二 氏

南関町生まれ。熊本工業高校では4番打者として春の選抜高校野球大会出場。1984年プロ野球ドラフト会議で読売ジャイアンツ5位指名入団。現役生活引退後は、コーチ、スカウトなどで長年チームの強化に関わっている。



プロゴルファー

大里 桃子 氏

南関町生まれ。幼少期から水泳やバスケットボールなど様々なスポーツを経験した。ゴルフは8歳から始め、熊本県府県高校時代には高校日本代表で海外遠征上位入賞。日本女子プロゴルフ協会会員入会から23日での優勝は最速記録。

第3部 南関町実践報告「これまでの部活動地域展開の取組」

久留米大学 人間健康学部スポーツ医科学科准教授 行實 鉄平 氏

第4部 南関中学校生徒提案

「生徒自身が主体的に取り組む未来の部活動への提案」

主催:南関町 南関町教育委員会

16



部活動地域展開
シンポジウムin
南関

南関中学校生徒
発表の様子

種目横断的な体験イベントの提案

▶全体像

- ・年に4回の体験イベント
- ・全校生徒（地域住民含む）を対象
- ・種目横断的な内容
- ・大人の協力を得て生徒が運営

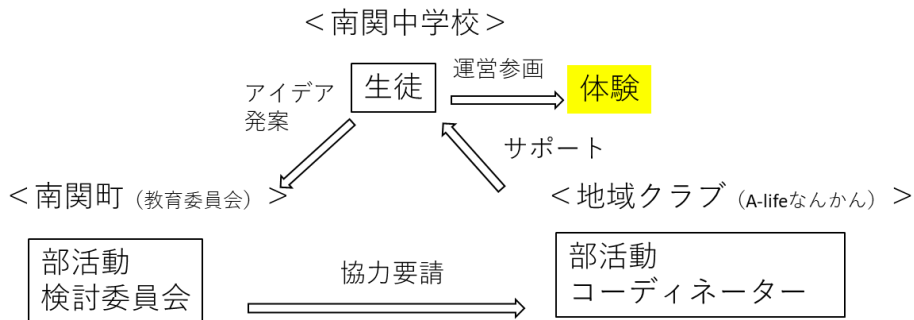
▶内容

18

運営体制

▶体験イベント運営体制

- ・生徒：種目横断的な体験イベントの提案
- ・南関町：検討委員会で話し合い学校と地域クラブに協力要請
- ・クラブ：指導者や当日準備をサポート



19

19

生徒が考える今後の展開

▶自分たちで部活動を運営することについて

- ・自分たちで部活動運営ができると魅力が高まる
- ・これまでにない新しい活動ができる（考えることができる）

▶部活動が地域と一緒に交流することについて

- ・生徒はこれから少なくなるので地域の人たちと一緒に活動できればよい
- ・いろんなことを教えてもらえるし、交流できれば楽しさが広がると思う

▶3年目のワークショップ(生徒組織の体制づくり)への期待

- ・種目横断的な体験イベントを実施する運営体制づくりに期待
- ・生徒にとって魅力ある部活動になることへの期待

20

20

最後に(WSに取り組んでみて)

▶生徒の感想

- ・部活動について、正直、これまで新しいことを考えることがなかった
- ・みんなで話し合ったり、新しい体験ができて、楽しかった

▶生徒から大人たちへのメッセージ

- ・ワークショップを重ねて、みんなで話し合った内容を提案しました
- ・私たちの「やってみたい」を実践できるように協力してほしい

21

21

これまで紹介しました
動画を作成しましたので
ご覧ください。

22